

日本ISMSユーザグループ (J-ISMS UG)

設立趣意書

1. 背景

近年におけるサイバー空間における不正行為（侵入、ウィルス等）、内部犯罪やコンピュータシステムの誤操作、システムに内在するプログラムバグ、外注業者とのトラブルなど企業資産を脅かす要因は増加の一途をたどっております。従って、企業資産の安全を確保し、安定したビジネスを展開するためには、総合的に情報セキュリティを確保した企業システムを構築することが鍵となります。この実現のためには、従来のコンピュータ技師やシステム管理者だけに頼らず、企業の経営層をも参画したセキュリティを考慮したマネジメントの実施が重要です。すなわち、企業・組織は、あらゆる脅威から情報資産を守るために、情報資産の脆弱性を十分に認識し、体系的な「情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS)」を構築・運用していくことが必達の課題となってきました。

2. 情報セキュリティマネジメントに関わる国際活動状況

国際的には ISO/IEC における「情報セキュリティマネジメント」のためのガイドライン、規範となる国際規格 **ISO/IEC 17799 : 2000** の策定が進められ、情報セキュリティマネジメントの国際的な認知度は高くなっています。また、世界中で上記 ISO 規格、および英国規格 BS7799-2 をベースとした ISMS 認証が精力的に進められており、世界 27 カ国が ISMS 認証の推進国として、国際 ISMS ユーザグループ (IUG) を結成しています。国際 ISMS IUG 参画メンバー国は、自国においてそれぞれ「ISMS ユーザグループ」を結成しており、該ユーザグループは国際 IUG への窓口となると同時に、国内における ISMS 構築・運用に関わる意見交換、ISMS 普及啓蒙活動、および ISMS 規格化への提言など多岐なる活動を進めています。

3. 設立の趣旨、および活動内容

昨今、日本におきましても、JIPDEC 主管の **ISMS 適合性評価制度** が急速に普及しつつあり、世界の ISMS 先進国として上記国際 ISMS ユーザグループ (IUG) への加盟が強く要請されています。以上のような状況を鑑み、日本において「日本 ISMS ユーザグループ (J-ISMS UG)」を結成・設立します。本 UG では、ISMS 構築・運用に関わる活発な意見交換、情報共有を進め、国内の ISMS 普及促進、さらなる企業活動の健全化の促進に寄与していかうとするものです。具体的には、以下の活動を進めていく所存です。

- (1) 日本 ISMS ユーザグループのメンバーにて利用可能なポータルサイト（可能な限り、日本語で）を立ち上げ、国際、国内における各種 ISMS 情報を共有します。
- (2) 国内における ISMS 構築、運用に関わる課題、問題点について、広く意見交換ができる場を提供します。具体的は、研究会、セミナーなどを開催していきます。
- (3) 本ユーザグループにおける意見交換の結果、必要な提言を国際 ISMS ユーザグループや ISO 国際規格に向けて発信し、BS7799-2 の国際規格化へ寄与します。

以上
発起人一同

発起人 リスト（五十音順）

アイ・ビー・エム ビジネスコンサルティングサービス株式会社
株式会社アズジェント
NTT コミュニケーションズ株式会社
株式会社 NTT データインフォブリオセキュリティコンサルティング
グローバルセキュリティエキスパート株式会社
KDDI 株式会社
日本電気株式会社
株式会社日立製作所
松下電器産業株式会社

オブザーバー

経済産業省
財団法人 日本情報処理開発協会 （JIPDEC）